

医療行動科学 1 : 501-1-DP1・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
1年次	通年	*渋谷 鑛 (歯科麻酔学)

学修目標 (G I O) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：2単位 ・学修目標 (G I O) : 歯科医学を学び、これから歯科医師になるにあたり先達の業績を知り、歯科医師としてのあるべき姿と社会的責任の重みを知り、将来の歯科医師としての自覚を醸成する。
評価方法 (E V)	学修ユニット「医療人間学」と「医学・歯科医学史」の各評価の平均を総合評価 (最終評価) とする。平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。受講態度は出席をすることが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。

医療人間学

年次	学期	学修ユニット責任者
1年次	前学期	*渋谷 鑛 (歯科麻酔学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：1単位 ・学修目標 (G I O) : 歯科医学を学び、これから歯科医師になろうとする学生に対し、将来の歯科医師としての自覚を醸成する。 1. 歯学部学生としての自覚を持ち、自らが目指す歯科医学・歯科医療の概略を理解する。 2. 本学における教育理念に基づいた6年間の学習の到達目標を理解する。 3. これから学習する歯科医学・医療がどのような意味を持つか、その概略を提示し学習の動機付けを図る。 4. 歯科医師としてのあるべき姿と社会的責任の重みを知り、その自覚を形成する。 5. 自己の歯科医師としての将来像を考える契機として、本学付属病院や開業歯科医院 (診療所) の見学体験から歯科医療の一端を認識する。
担当教員	*渋谷 鑛、*山口 秀紀、*石橋 肇、*卯田 昭夫、*下坂 典立、*鈴木 正敏、*青木 伸一郎、*岡本 康裕、*中村 真実、*佐藤 俊秀、*荒巻 さやか、*清野 宏、*木本 統、*黒木 俊一、*寒竹 郁夫、*渡部 幹夫、*那須 郁夫、*草間 弘朝、*田中 晃伸、*伊藤 孝訓
教科書	人間学入門－医療のプロをめざすあなたに－ 日本医学教育学会 倫理・行動科学小委員会、準備教育小委員会 (編) 南山堂
評価方法 (E V)	講義：授業時間内に行う平常試験・小テスト (60%)、制作物・体験レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。受講態度は出席をすることが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/04/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	オリエンテーション 松戸歯学部教育理念、教育概要	<p>【授業の一般目標】 日本大学松戸歯学部で歯科医師を目指すため松戸歯学部の教育方針を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。 5. 日本大学並びに松戸歯学部の歴史を概説できる。 6. 松戸歯学部のアドミッションポリシーが説明できる。 7. 松戸歯学部のカリキュラムポリシーが説明できる。 8. 松戸歯学部のデプロマポリシーが説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：松戸歯学部HPを閲覧する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p>	*渋谷 鑛 *伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/04/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	オリエンテーション 松戸歯学部 の教育 理念、教育概要	1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナルリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分)を説明できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。	*渋谷 鑠 *伊藤 孝訓
2019/04/17 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/04/17 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医療行動科学全般 の概要・職業人 振替日：6月12日 (水)1限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、プロフェッショナルリズムを理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 3.医療職プロフェッションを説明できる。 4.信頼できる社会人、医療人について説明できる。 5.医療における行動科学の範疇を概説できる。 6.歯科医師の責務を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：一般社会における職業人についてネット等で自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。	*伊藤 孝訓 *渋谷 鑠
2019/04/24 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/04/24 (水) 1時限 09:00～10:30 B	付属病院見学 振替日：6月12日 (水)2限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、学部の付属病院の特徴を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.付属病院見学のマナーを理解する。 3.付属病院における診療の実際を理解する。 4.来院患者に対する配慮を実践できる。 5.付属病院で勤務する医療職を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：付属病院のHPを閲覧する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・病院内を見学実習する。 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項	*渋谷 鑠 *伊藤 孝訓 *山口 秀紀 *青木 伸一郎 *卯田 昭夫 *岡本 康裕 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *中村 真実 *荒巻 さやか *佐藤 俊秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/24 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/04/24 (水) 1時限 09:00～10:30 B	付属病院見学 振替日：6月12日 (水) 2限目	3 チーム医療 ア チーム医療の意義 b 医科歯科連携 d 医療チームの構成員と役割 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 青木 伸一郎 * 卯田 昭夫 * 岡本 康裕 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 中村 真実 * 荒巻 さやか * 佐藤 俊秀
2019/05/08 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/05/08 (水) 1時限 09:00～10:30 B	社会に望まれる歯科医師とは 振替日：6月19日 (水) 1限目	【授業の一般目標】 超高齢化社会を迎え、将来の歯科医師として望むべき歯科医療のあり方を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. わが国の歯科医療事情の変化を概説できる。 3. 今後求められる歯科医療の分野を概説できる。 4. 歯科医師が具有すべき臨床能力コンピテンスについて概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：わが国の人口動態をネットで自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療(インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ③医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる。	* 伊藤 孝訓 * 洪谷 鑛
2019/05/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/05/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医療と社会の関わり/患者中心の医療 振替日：6月19日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 国民が求める安心安全な歯科医療を提供するための患者中心の医療という考えについて、その意味を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 国民の医療に対する健康意識を概説できる。 3. 高齢化に伴う疾病構造の変化を概説できる。 4. 国民のニーズの多様化を概説することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：高齢化社会の歯科医療について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療(インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。	* 伊藤 孝訓 * 洪谷 鑛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/05/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医療と社会の関わり/患者中心の医療	④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	*伊藤 孝訓 *渋谷 鏡
2019/05/22 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/05/22 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医療と社会の関わり/歯科医師会の取り組み 振替日：6月19日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 医療人として求められる社会的役割と責任を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 地域包括ケアシステムの概念を概説できる。 3. かかりつけ歯科医等の役割を概説できる。 4. 地域における保健・医療・福祉・介護の分野、多職種間の連携の必要性を概説できる。 5. 社会における歯科医師会の役割を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医療についてネット等で調べて自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種の連携 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*渋谷 鏡 *伊藤 孝訓
2019/05/29 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/05/29 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医療と社会の関わり/同窓会の取り組み 振替日：6月26日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 医療人として求められる社会的役割と責任を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 地域医療における歯科医療の現状を概説できる。 3. 医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。 4. 生涯研修の重要性を概説できる。 5. 歯学部同窓会の社会貢献について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科の社会貢献についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種の連携 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*渋谷 鏡 *伊藤 孝訓
2019/06/05 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/06/05 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医療を支えるチーム (看護師、歯科衛生士、歯科技工士等) 振替日：7月3日 (水) 1限目	【授業の一般目標】 患者中心の医療を行うために、歯科のチーム医療の重要性を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心のチーム医療の意義を概説できる。 3. チームの構成員 (看護師、歯科衛生士、技工士等) の役割と連携を概説できる。	*渋谷 鏡 *伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/05 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/06/05 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医療を支えるチーム (看護師、歯科衛生士、歯科技工士等) 振替日：7月3日 (水) 1限目	4. 専門職がとらえる歯科医療の特性を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：チーム医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 d 医療チームの構成員と役割 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。	* 渋谷 鑛 * 伊藤 孝訓
2019/06/12 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/06/12 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学における研究 振替日：7月24日 (水) 2限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の研究マインドを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 研究は歯科医学の発展と患者の利益になることを説明できる。 3. 研究は患者に施行する治療の根拠となることを説明できる。 4. 研究は患者を対象とした場合、同意を得ることの必要性を説明できる。 5. EBD (エビデンスベースドデンティストリー) を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：治療の科学的根拠の重要性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 臨床試験・治験と倫理 a 臨床研究、疫学研究の倫理指針 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的探究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。	* 渋谷 鑛 清野 宏
2019/06/19 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/06/19 (水) 1時限 09:00～10:30 B	平常試験と解説 開業医見学の前準備1 振替日：7月17日 (水) 1限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科医師の役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 社会人としてのマナーと態度を実施できる。 3. 診療室におけるマナーと態度を実施できる。 4. 医療スタッフ、患者との良好な関係を築くことができる。 5. 見学活動の振り返りができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：社会人として具有すべき知識についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分	* 渋谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 佐藤 俊秀 * 中村 真実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/19 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/06/19 (水) 1時限 09:00～10:30 B	平常試験と解説 開業医見学の前準備1 振替日：7月17日 (水) 1限目	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。(見学実施の準備について討議) スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 d 医療チームの構成員と役割</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 c 病診連携</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 佐藤 俊秀 * 中村 真実
2019/06/26 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/06/26 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学の前準備2 (演習) 振替日：7月17日 (水) 2限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科医師の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 社会人としてのマナーと態度を実施できる。 3. 診療室におけるマナーと態度を実施できる。 4. 医療スタッフ、患者との良好な関係を築くことができる。 5. 見学活動の振り返りができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療現場で生じるアクシデントを調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。(見学の視点について討議) スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 d 医療チームの構成員と役割</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 佐藤 俊秀 * 中村 真実
2019/07/03 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/07/03 (水) 1時限 09:00～10:30 B	社会人マナー、松戸警察講演 振替日：7月3日 (水) 2限目	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、社会人としてのマナーを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 社会人としてのマナーを説明できる。 3. 歯科医学生に対する世間の評価について説明できる。</p>	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/03 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/07/03 (水) 1時限 09:00～10:30 B	社会人マナー、松戸警察講演 振替日：7月3日 (水) 2限目	4. 脱法ドラッグの危険性について説明できる。 5. 夏季休暇を安全に過ごす、防犯について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脱法ドラッグについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・警察提供の実物を観察する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏
2019/07/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/07/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学のまとめ1 振替日：8月28日 (水) 1限目	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、開業歯科医の役割を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 開業歯科医師の特徴を説明できる。 3. 開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 4. 開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：開業医の見学ポートフォリオをまとめる。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。（見学の振り返りシートの作成） スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。 A-7 社会における医療の実践 A-7-1) 地域医療への貢献 ②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏
2019/07/17 (水) 1時限 09:00～10:30 A	開業医見学のまとめ2（発表） 振替日：8月28日	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、開業歯科医の役割を理解する。	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/17 (水) 1時限 09:00～10:30 B	(水) 2限目	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 開業歯科医師の特徴を説明できる。 開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：上手な発表の仕方を調べて自習する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有・グループディスカッションを行う。(発表・評価) 講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。 A-5 チーム医療の実践 A-5-1 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。 A-7 社会における医療の実践 A-7-1 地域医療への貢献 ②医療計画 (医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等) 及び地域医療構想を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。</p>	<p>*下坂 典立 *鈴木 正敏</p>
2019/08/28 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/08/28 (水) 1時限 09:00～10:30 B	<p>休講：7月10日 (水) 第1時限と 第2時限 振替日：4月20日 (土) 9:00～歯 科検診 (体験学習)</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、患者としての立場から受診の心理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 受診時の患者としての心理を体験する。 受診時の検査の苦痛を体験する。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：歯科の検診法について調べて自習する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有・患者の体験、記録者を体験する。 講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>10 検査・臨床判断の基本 イ 検査の安全性 a 実施 (必要性) の説明</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力</p>	<p>*渋谷 鑛 *伊藤 孝訓 *木本 統 *黒木 俊一 *山口 秀紀 *青木 伸一郎 *卯田 昭夫 *岡本 康裕 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *荒巻 さやか *佐藤 俊秀 *中村 真実</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/28 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2019/08/28 (水) 1時限 09:00～10:30 B	休講：7月10日 (水) 第1時限と 第2時限 振替日：4月20日 (土) 9:00～歯 科検診 (体験学習)	A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ⑥患者のプライバシーに配慮できる。	* 洪谷 鑛 * 伊藤 孝訓 * 木本 統 * 黒木 俊一 * 山口 秀紀 * 青木 伸一郎 * 卯田 昭夫 * 岡本 康裕 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 荒巻 さやか * 佐藤 俊秀 * 中村 真実

医学・歯科医学史

年次	学期	学修ユニット責任者
1年次	後学期	* 渋谷 鑛 (歯科麻酔学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	「医学は、他のどんな自然科学よりも歴史上の知識を必要とする」(Rudolf Virchow 1821~1902)とあるように、医学・歯科医学は継承の学問である。先人の努力の積み重ねがあってこそ現在が成り立っていることを忘れてはならない。本講義の目標は歯科医学に関する資(史)料を通し、過去から現在への考証とともに未来を予想することにある。歯科医学を志す人、全ての根底にある学科目である。歯科医学に関係した代表的な人物史の理解、歯科医学教育歯科医事衛生史についても学ぶ。
担当教員	* 渋谷 鑛、* 山口 秀紀、* 石橋 肇、* 卯田 昭夫、* 下坂 典立、* 鈴木 正敏、* 中村 真実、* 佐藤 俊秀
教科書	スタンダード歯科医学史 石井拓男・渋谷 敏・西巻明彦 学建書院
参考図書	歯学史資料図鑑 谷津三雄 医歯薬出版 医歯薬史資料図鑑 谷津三雄 医歯薬出版 図説歯科医学の歴史 谷津三雄 西村書店
評価方法 (EV)	授業時間内に行う平常試験(100%)によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を講じることがある。授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。また、再試験の受験資格は与えない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/18 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2019/09/18 (水) 2時限 10:40~12:10 B	医学史総論と歯科 医学史との関係	<p>【授業の一般目標】 医学史総論と歯科医学史との関係について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医学史の概略を古代から近代までについて学ぶ。 2. 近代歯科医学の発展の経緯について述べられる。 3. 近代歯科医学 (明治期以降) の黎明期および発展について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 教科書「スタンダード歯科医学史」P. x~xxの年表を熟読すること。 ・事前学修時間: 20分 ・事後学修項目: 講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	* 渋谷 鑛
2019/09/25 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2019/09/25 (水) 2時限 10:40~12:10 B	義歯の歴史	<p>【授業の一般目標】 義歯の歴史について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. わが国固有の「木床義歯」の歴史的発達過程とその製造方法等について学ぶ。 2. 外国の義歯との比較について理解する。 3. お歯黒 (鉄漿) について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 教科書「スタンダード歯科医学史」72-76pを熟読すること。 ・事前学修時間: 10分 ・事後学修項目: 講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	* 渋谷 鑛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/02 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2019/10/02 (水) 2時限 10:40~12:10 B	歯磨きと楊枝の歴史	<p>【授業の一般目標】 歯磨きと楊枝の歴史について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 江戸時代から、明治、大正、昭和への歯磨きのラベルとその発達史について学ぶ。 2. 歯ブラシの原点と楊枝と江戸情緒豊かな房楊枝について学ぶ。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」P.76-77を熟読すること。 ・事前学修時間：5分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書・参考書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*渋谷 鏡 *石橋 肇
2019/10/09 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2019/10/09 (水) 2時限 10:40~12:10 B	歯科医学教育史および社会歯科学から見た歯科医療	<p>【授業の一般目標】 歯科医学教育史および歯科医療学の発達史から未来の歯科医療について考察する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医学教育 (機関) の発達史について学ぶ。 2. 私塾から歯科医学校・専門部歯科・歯科大学歯学部までの発達経緯について理解する。 3. 歯科医療の公共性について理解する。 4. 歯科医療学の未来について考察することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」78-87pを熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*渋谷 鏡 寒竹 郁夫
2019/10/16 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2019/10/16 (水) 2時限 10:40~12:10 B	ワクチン受容史	<p>【授業の一般目標】 ワクチン史の概要について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 天然痘の歴史について説明できる。 2. 予防接種の歴史について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：ワクチンについて検索し、調べる。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートを再読する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡部 幹夫
2019/10/23 (水)	むし歯予防デーの	<p>【授業の一般目標】</p>	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10 A 2019/10/23 (水) 2時限 10:40～12:10 B	制定と口腔衛生小史	むし歯予防デーの制定と口腔衛生小史について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. むし歯予防デー制定までの歴史的背景を学ぶ。 2. 口腔衛生の小史について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」100-105pを熟読すること。 ・事前学修時間：10分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	*山口 秀紀
2019/11/06 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2019/11/06 (水) 2時限 10:40～12:10 B	史料のまとめ方	【授業の一般目標】 史料のまとめ方について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. グループKJ法を用いて歯科医学史料をまとめるための技法を学ぶ。 2. テーマの決め方、調査・取材の方法、まとめに用いる史料の選び方を学ぶ。 3. ラベル作り、グルーピング、表札の作り方を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：kJ法について検索し、調べる。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノート・製作物を再読する。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	那須 郁夫
2019/11/13 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2019/11/13 (水) 2時限 10:40～12:10 B	歯科医学・歯科医療に貢献した人々	【授業の一般目標】 歯科医学・歯科医療黎明期の人物像について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. イーストレーキ、パーキンス、エリオットの人物像について学ぶ。 2. 小幡英之助、伊澤道盛、伊澤信平、一井正典の人物像について学ぶ。 3. 高橋孝子、高山紀斎、中原市五郎、血脇守之助、島峰 徹の人物像について学ぶ。 4. 佐藤運雄、鈴木 勝の人物像について学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」の人名索引から行動目標に記載された人物を検索し、その項目を熟読すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	*渋谷 鏡 草間 弘朝
2019/11/20 (水) 2時限	歯学史資料室見学	【授業の一般目標】 ・事前学修項目：今までの授業内容を復習する。	*渋谷 鏡 *山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10 A 2019/11/20 (水) 2時限 10:40～12:10 B	歯学史資料室見学	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：歯学史資料室の所蔵物について教科書・参考書を用いて再確認する。 ・事前学修時間：20分 <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯学史資料（書籍）の見学から一次資料を見聞し、時代的な考証を加えることができる。 2. 歯学史資料（引き札）の供覧から時代的背景をのべることができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 これまでの授業内容を復習する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 草間 弘朝
2019/11/27 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2019/11/27 (水) 2時限 10:40～12:10 B	平常試験1および 解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの授業内容について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：今までの授業内容を復習する。 ・事前学修時間：3時間 ・事後学修項目：試験問題に対する解答を完成させる。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 渋谷 鑛 * 山口 秀紀 * 石橋 肇 * 卯田 昭夫
2019/12/04 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2019/12/04 (水) 2時限 10:40～12:10 B	ドイツにおける歯 科医学教育・歯科 医療の歴史と現状	<p>【授業の一般目標】 ドイツにおける歯科医学教育・歯科医療の歴史と現状について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の歯科医学教育の利点・欠点を理解し論じるためにドイツの教育制度を知り、比較検討する。 2. 日本の歯科医療の利点・欠点を理解し論じるためにドイツの歴史・現状を知り、比較検討する。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」92-99pを熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 卯田 昭夫
2019/12/11 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2019/12/11 (水) 2時限	江戸文化歴史検定 について	<p>【授業の一般目標】 江戸文化歴史検定について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 江戸文化歴史検定の概略を説明できる。 2. 江戸時代に対する歴史認識の変遷について述べるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 石橋 肇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10 B	江戸文化歴史検定 について	3. 一般市民の歯科医学史・医学史に関する認識について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」60-71pを熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	*石橋 肇
2019/12/18（水） 2時限 10:40~12:10 A 2019/12/18（水） 2時限 10:40~12:10 B	歯科医事衛生史	【授業の一般目標】 歯科医事衛生史について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 医制のなかにあった歯科医行政から分科独立した経緯について学ぶ。 2. 歯科医学での専門分化の必要性和専門医制度について学び、未来を考察する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」78-91pを熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	*渋谷 鏡
2020/01/15（水） 2時限 10:40~12:10 A 2020/01/15（水） 2時限 10:40~12:10 B	麻酔・口腔外科の 発達経緯	【授業の一般目標】 麻酔・口腔外科の発達経緯について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 痛みの克服および麻酔（全身麻酔・局所麻酔）の発達史について理解する。 2. 歯科・口腔外科の発達史について理解する。 3. 医学・歯科医学の境界領域の歯科医学の未来を考察する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」38-49pを熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	*渋谷 鏡
2020/01/22（水） 2時限 10:40~12:10 A 2020/01/22（水） 2時限 10:40~12:10 B	江戸時代の医家について	【授業の一般目標】 江戸時代の医家について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 江戸時代における著明医の人物史について学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」60-65pを熟読すること。 ・事前学修時間：15分	田中 晃伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/22 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/01/22 (水) 2時限 10:40～12:10 B	江戸時代の医家について	<ul style="list-style-type: none"> ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	田中 晃伸
2020/01/29 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/01/29 (水) 2時限 10:40～12:10 B	平常試験 2 および 解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. これまでの授業内容について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：今までの授業内容を復習する。 ・事前学修時間：3時間 ・事後学修項目：試験問題に対する解答を完成させる。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	* 渋谷 鑛 * 山口 秀紀 * 石橋 肇 * 卯田 昭夫